



更女だより

更女の輪を広げよう！

令和6年3月
第 23 号
妙高地区更生保護女性会

更生保護女性会の目的

母性愛の精神をもって、犯罪者並びに非行少年に対する更生保護活動に協力し、力を合わせて犯罪予防のために世論の啓発に努め、健全なる青少年の育成を促進し、地域活動に寄与することを目的としています。

あいさつ

たくさんの人々と出会い。そして、素敵をたくさんいただいて。

会長 池田 俊子

コロナも5類に移行され、私たち更女会も積極的に活動を進めています。研修も長岡市、新潟市そして首都圏へも繰り広げています。

本年度は、地域貢献に目標を置いています。「おせっかい」を充分発揮して、地域の皆さんの御理解をいただいて、前進して行こうと思っています。よろしくお願ひ致します。

この度、5代目の会長の内田弓子さん(北沢三)に寄稿をお願いした所、旧妙高村の更女会の歴史をひもといていただきました。原稿を読むにつれ、首都圏での研修にびっくり昔からあったんだという驚きと同時に妙に納得した瞬間でした。現在こうして活動できるのも先達の方々のおかげとしみじみ感じ入りました。本当にありがとうございました。会員一同、心より感謝申し上げます。

なお内田さんの寄稿文については、今年度発行予定の特別号で改めて紹介させていただきます。

令和5年度のおもな活動

4月 5日	地区総会資料印刷	ふれあいパーク
4月 11日～19日	春の挨拶運動	各地区、小中学校前他
5月 22日	地区役員会	妙高支所
5月 30日	新井地区更女と交流会	妙高市いきいきプラザ
6月 5日	第一回理事会	新潟保護観察所
6月 8日	第一回上越ブロック代表者会	直江津学びの交流館
6月 8日	第一回県更女だより編集委員会	直江津学びの交流館
6月 25日	県道、国道清掃 4自治会協働	
7月 6日	社会を明るくする運動	新井地区内
7月 7日	県更女リフレッシュ研修	長岡市
9月 11日	第二回県更女だより編集委員会	直江津学びの交流館
9月 21日～29日	秋の挨拶運動	各地区、小中学校前他
9月 26日	新井地区更女と交流会	妙高市いきいきプラザ
10月 4日	県更女の集い	長岡リリックホール
11月 10日	県保護大会	
11月 15日	第二回上越ブロック代表者会	直江津学びの交流館
11月 15日	第三回県更女だより編集委員会	直江津学びの交流館
11月 24日	地区委員会	妙高支所
11月 28日	新井地区更女と交流会	妙高市いきいきプラザ
12月 19日	第四回県更女だより編集委員会	直江津学びの交流館
1月 17日	地区委員会更女だより編集会議	直江津学びの交流館
1月 29日	第五回県更女だより編集委員会	直江津学びの交流館
3月 25日	地区会計監査	妙高支所
3月 29日	地区更女だより更正・編集	妙高支所

新井地区更生保護女性会との交流会に参加して

岡本 敏子

令和5年9月26日、新井地区更生保護女性会よりお誘いして頂き、さつきスポーツクラブ指導者の石田雅子先生の「人生を楽しく、明るくいいきと～健康運動～」に参加させていただきました。(いきいきプラザにて)よい姿勢を保つためにまず、足の指が大切であること、正しい姿勢を意識すること、腹式呼吸で腹筋がつくことなど教えていただきました。とても素敵な先生でした。

その後の座談会は、歌を3曲歌って始まり、自己紹介、新井地区の活動報告、妙高地区からは豊岡さんの体験談がありました。最後は「今日の日はさようなら」を歌い終了しました。いただいた新井地区更生保護女性会報「かとれあ147号」は、日々の活動がきちんと写真付き、コメント付きで載せてあり、素晴らしいと思いました。

とても楽しく過ごさせて頂き、手作りのつがいのフクロウのお土産までいただき、身も心も軽くなって帰路につきました。

「ALL 妙高あいさつ運動」に加わって

内田 美佐子

秋空のもと、登校の小中学生、道を行く人や、車に笑顔であいさつ届けました。タスキを肩に「見守っていますよ」、「事故に遭われませんように」と。照れ臭そうな中学生の、走る車からの返された挨拶は、思いのほか温かく胸に残りました。

第20回 新潟県更生保護大会に参加して

豊岡 芙美子

11月10日、妙高市の保護司の方、更には保護女性会の方々と雨の中、新潟市秋葉区(鉄道の街)、“新津文化会館”へ。会場いっぱいの方々に圧倒されました。開幕のアトラクションに詞の朗読劇を数編に続き、小中学生の”社会を明るくする”作文発表、小中学生とは思われぬ”しっかりした事を思っている”作文に感動しました。

保護司さんは保護司さんの大変な仕事、更生保護女性会でも皆さん活躍されて感心しました。それらの活躍されている方々の表彰式が行われ、私達も頑張らなければいけないと心を新たにしましたが残念ながら、自分の体を維持していくのが難しくなりました。18年ぶりに県保護大会に参加させて頂いて良かったです。正直バスと会場での往復8時間中の座りっぱなしは疲れました。今度、若い人達からも参加していただきましょう。

11月28日 新井更女さんとの交流から

手塚 洋子

認知証の人と家族の会が提言する「認知症にやさしいまち」看護大准教授の出前口座に参加させていただきました。

・認知症を正しく知り理解する。 ・困っている人に手を差し伸べる。

・他人事から自分事に。 ・特別扱いはしない。

気づき、備え、悩みを抱えこまない、一人ひとりが安心して暮らせる仲間がいるまち、つながるまち、仲間っていいなあと考えるまちをと、だって、何で、でもと言いつつやがて迎えるんだろうと思います。

関東地方更生保護委員会委員長感謝状をいただいて

池田 俊子

このような、素晴らしい賞を私のようなものがいただいて、何か夢のようです。会員の皆さんが協力して下さったお励だと思っています。本当にありがとうございました。これからは会員の皆さんと一緒に活動していく所存です。よろしくお願ひ致します。

編集後記

暖冬少雪のシーズンでしたが、3月末に降雪があり、春の来るのが思ったより遅かったですね。でも無事桜も咲いて新年度に入りました。今年も皆さんのお力をお借りして頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。(俊)